

# 道の駅赤来高原で 自動運転サービス実証実験

11月11日に、衆議院議員の竹下巨氏、亀井亜紀子氏、三浦靖氏、参議院議員の青木一彦氏、島田三郎氏などを来賓に迎え、「自動運転サービス実証実験開始式」を開催しました。



開始式を「飯南牡丹組」が盛り上げました



国会議員、赤来小学校の児童、地域住民らがテープカット



赤名の町を走った自動運転車

11/11 土  
11/17 金

「ス実証実験開始式」を開催しました。

また、12日から17日の間には、地域住民など約140人が実証実験に参加し、実際に自動運転車に乗車し、最先端の技術を体験しました。自動運転車に乗車した参加者は「驚いた。新たな交通手段として期待している」と話していました。この実証実験は、全国13箇所で行われており、県内では本町のみで実施されています。

# 鳥根県交通安全県民大会 広げよう事故ゼロしまねの思いやり

第53回鳥根県交通安全県民大会が、ラメール（雲南市加茂町）で開催され、交通安全活動に尽力された次の皆さんが表彰を受けられました。

交通安全賞章「緑十字銅章」表彰（一財）全日本交通安全協会会長表彰  
優良運転者 加藤武男さん（谷）  
40年以上の無事故無違反



加藤武男さん

鳥根県警察本部長・（一財）鳥根県交通安全協会会長連名表彰  
交通安全功労者 大上教貳さん（角井）



大上教貳さん

雲南地区交通安全協会の役員（理事）を長年勤められました。  
優良運転者 後長正行さん（角井）  
30年以上の無事故無違反

11/10 金



（一財）鳥根県交通安全協会会長表彰  
交通安全功労団体  
有限会社赤来交通



（有）赤来交通 藤川佳成代表取締役社長

町営バス・スクールバスを運行し、日々、安全運転に努め、交通安全ルールの意識啓発を実施。また、バス停の清掃活動のほか、カーブミラーや道路標識、横断歩道などの交通安全施設も点検し、交通事故予防に尽力されました。

# 郵便局と協定を締結 安心して暮らせる地域づくりを

12/7 木

来島、頓原、志々、赤名、谷、松江中央の6局の郵便局と「地域における協力に関する協定」と「災害発生時における協力に関する協定」を締結しました。



写真右から、来島郵便局 安部亮局長、山崎町長、松江中央郵便局 米今隆祉局長（来島郵便局が町内5局を代表）

# エコードライブで COOL CHOICE（＝賢い選択）

11/26 日



子ども達もエコドライブを体験

エコドライブをテーマに、役場庁舎で「COOL CHOICE イベント」を開催しました。JAF鳥根支部の伊藤昇さんは、「エコドライブは安全運転につながります。一人ひとりの少しの心がけが、地球温暖化防止の大きな力になる」と来場者に伝えました。このほか、ドライブシミュレーターによるエコドライブ測定体験、テレビCMで話題の最新のエコカーの試乗なども行いました。

# 発電機・ 投光器寄贈

11/24 金



寄贈された発電機と投光器

（一社）日本道路建設業協会中国支部から、近年頻発する自然災害発生時の救援活動、復旧活動等に役立ててほしいと、道の駅赤来高原へ「発電機と投光器一式」が寄贈されました。



日本道路建設業協会中国支部の伏見光暁支部長（左）と塚原副町長

寄贈された発電機は、1回の給油（ガソリン）で約8時間稼働します。今後、訓練や災害時に活用していきます。

# 水田センサー「Paddy Watch」寄贈

11/20 月



大和リース株式会社山陰営業所の後藤健治統括所長（右）と塚原副町長

大和リース株式会社から、町の農業振興に役立ててほしいと、「水田センサー」30台が寄贈されました。研究開発は、農業とITが融合した農業生産技術の研究するベジタリア株式会社。このセンサーは、圃場の水位や水温などの計測が可能で、データをスマートフォンやタブレットへ配信できるため、圃場に出掛けなくても状況を確認できる製品です。

寄贈いただいた水田センサーは、春から町内で希望される大規模な担い手へ貸し出し、試験的に活用する予定です。